

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 7 月 25 日 (2013.7.25)

【公開番号】特開 2012-3923 (P2012-3923A)

【公開日】平成 24 年 1 月 5 日 (2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-001

【出願番号】特願 2010-137192 (P2010-137192)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

F 2 1 V 9/08 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 3 1 1

F 2 1 V 9/08 2 0 0

F 2 1 V 9/08 3 0 0

G 0 3 B 21/14 A

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 6 月 11 日 (2013.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の波長を有する励起光を射出する励起光源と、

前記励起光が照射された際に、前記第 1 の波長より長い第 2 の波長を有する光を発光するとともに、前記励起光の一部を透過させて、該透過した前記第 1 の波長の励起光と該発光した第 2 の波長の光とを合波して射出する蛍光体と、

前記蛍光体の前記励起光の照射位置を時間とともに移動させる駆動部とを備える照明装置。

【請求項 2】

さらに、前記蛍光体の前記励起光の入射側に、前記蛍光体で発光した光を選択的に反射する反射膜を備える

請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 3】

前記反射膜が、所定角度以下の入射角の励起光を透過させる膜である

請求項 2 に記載の照明装置。

【請求項 4】

さらに、前記反射膜及び前記励起光源間の光路上に、前記励起光の前記反射膜への入射角が前記所定角度以下になるように前記励起光を集光する第 1 光学系を備える

請求項 3 に記載の照明装置。

【請求項 5】

前記反射膜が、20 度以下の入射角の励起光を透過させる膜である

請求項 2 に記載の照明装置。

【請求項 6】

さらに、前記蛍光体から発光した光を平行光に変換する第2光学系を備える
請求項1に記載の照明装置。

【請求項7】

さらに、前記蛍光体の前記励起光の入射側に、前記励起光の反射を防止する反射防止膜を備える

請求項1に記載の照明装置。

【請求項8】

前記第1の波長が青色波長であり、前記第2の波長が赤色及び緑色の波長を含む波長帯域である

請求項1に記載の照明装置。

【請求項9】

前記駆動部が、前記蛍光体を、前記蛍光体の前記励起光の照射面内の所定方向に移動させる

請求項1に記載の照明装置。

【請求項10】

第1の波長を有する励起光を射出する励起光源と、該励起光が照射された際に、該第1の波長より長い第2の波長を有する光を発光するとともに、該励起光の一部を透過させて、該透過した該第1の波長の励起光と該発光した第2の波長の光とを合波して射出する蛍光体と、該蛍光体の該励起光の照射位置を時間とともに移動させる駆動部とを有する光源装置部と、

前記光源装置部から射出された光を用いて所定の画像光を生成し、該生成した画像光を外部に投影する画像投影部と

を備える画像表示装置。

【請求項11】

さらに、前記蛍光体の前記励起光の入射側に、前記蛍光体で発光した光を選択的に反射する反射膜を備える

請求項10に記載の画像表示装置。

【請求項12】

前記反射膜が、所定角度以下の入射角の励起光を透過させる膜である

請求項11に記載の画像表示装置。

【請求項13】

さらに、前記反射膜及び前記励起光源間の光路上に、前記励起光の前記反射膜への入射角が前記所定角度以下になるように前記励起光を集光する第1光学系を備える

請求項10に記載の画像表示装置。

【請求項14】

前記反射膜が、20度以下の入射角の励起光を透過させる膜である

請求項11に記載の画像表示装置。

【請求項15】

さらに、前記蛍光体の前記励起光の入射側に、前記励起光の反射を防止する反射防止膜を備える

請求項10に記載の画像表示装置。